

## 2019 年度公共用水域及び地下水の水質調査結果

### 第 1 公共用水域の水質調査結果

#### 1 調査期間

2019 年 4 月から 2020 年 3 月まで

#### 2 調査機関

愛知県、国土交通省、名古屋市、豊橋市、岡崎市、一宮市、春日井市、豊田市

#### 3 調査地点数

区 分	河 川	湖 沼	海 域	計
健 康 項 目	98	2	39	139
生 活 環 境 項 目	103	2	41	146

(注)健康項目の調査地点は、全て生活環境項目の調査地点に含まれる。

#### 4 健康項目（人の健康の保護に関する環境基準が定められている項目）

河川、湖沼、海域の 139 地点で調査を実施した結果、名古屋市内水域の荒子川の荒子川ポンプ所で 1,2-ジクロロエタンが環境基準を達成しなかったものの、その他の項目及びその他の 138 地点における全ての項目で環境基準を達成しました。

水域区分	水域名	調査地点	項目	年間平均値	環境基準値
名古屋市内水域	荒子川	荒子川ポンプ所	1,2-ジクロロエタン	0.013mg/L	0.004mg/L 以下

#### 5 生活環境項目（生活環境の保全に関する環境基準が定められている項目）

河川等における環境基準の達成状況について、環境基準が設定されている水域ごとに次の指標により評価しました。結果は（1）から（3）のとおりです。

##### ○ 河川

- ・生物化学的酸素要求量（BOD）\*<sup>1</sup>
- ・水生生物の保全に関する環境基準項目（全亜鉛、ノニルフェノール、直鎖アルキルベンゼンスルホン酸及びその塩（LAS））

##### ○ 湖沼

- ・化学的酸素要求量（COD）\*<sup>2</sup>
- ・水生生物の保全に関する環境基準項目

##### ○ 海域

- ・COD\*<sup>2</sup>
- ・全窒素及び全磷\*<sup>3</sup>
- ・水生生物の保全に関する環境基準項目

\* 1 河川における有機汚濁の代表的な指標

\* 2 湖沼・海域における有機汚濁の代表的な指標

\* 3 富栄養化の代表的な指標

(1) 河川 (BOD、全亜鉛、ノニルフェノール、LAS)

ア BOD

類型指定がされている 49 水域のうち、46 水域で環境基準を達成し、達成率は 94% でした。環境基準達成率の長期的な推移をみると、改善傾向にあります。

河川 49 水域 (BOD) の環境基準達成状況

水域区分	水域名	類型	年度			水域区分	水域名	類型	年度		
			2017	2018	2019				2017	2018	2019
木曽川 水域	木曽川中流	A	○	○	○	矢作川 水域	矢作川上流(1)	AA	○	○	×
	木曽川下流	A	○	○	○		矢作川上流	A	○	○	○
庄内川等 水域	日光川	E→D <sup>*1</sup>	○	○	○		矢作川下流	B→A <sup>*2</sup>	○	○	○
	新川下流	E→D <sup>*1</sup>	○	○	○		巴川	A	○	○	○
	五条川下流	E→D <sup>*1</sup>	○	○	○		乙川上流	A	○	○	○
	庄内川中流(1)	B	○	○	○		乙川下流	B→A <sup>*2</sup>	○	○	○
	庄内川中流(2)	D	○	○	○		鹿乗川	C	○	○	○
	庄内川下流	D	○	○	○		矢作古川	C→B <sup>*2</sup>	○	○	○
	矢田川上流	D	○	○	○		介木川	A→AA <sup>*2</sup>	○	○	○
名古屋市 内水域	矢田川下流	D	○	○	○		男川	A	○	○	○
	荒子川	E	○	○	○	雨山川及び乙女 川下流	A→AA <sup>*2</sup>	○	○	○	
	中川運河	E	○	○	×	木瀬川及び犬伏 川下流	A→AA <sup>*2</sup>	○	○	○	
	堀川	D	○	○	×	豊川等 水域	豊川上流	AA	○	○	○
	山崎川	D	○	○	○		豊川中流	A	○	○	○
天白川	C	○	○	○	豊川下流		B→A <sup>*1</sup>	○	○	○	
境川等 水域	境川上流	B	×	×	○		宇連川	AA	○	○	○
	境川下流	C→B <sup>*3</sup>	○	○	○		豊川放水路	C→B <sup>*1</sup>	○	○	○
	逢妻川上流	D→C <sup>*3</sup>	○	○	○		音羽川	C→B <sup>*1</sup>	○	○	○
	逢妻川下流	D→B <sup>*3</sup>	○	○	○		佐奈川	D→C <sup>*1</sup>	○	○	○
	猿渡川	D→C <sup>*3</sup>	○	○	○		梅田川	C	○	○	○
	稗田川	C	○	○	○	汐川	E→D <sup>*1</sup>	○	○	○	
	高浜川	C	○	○	○	天竜川 水域	大千瀬川	AA	○	○	○
	新川	C	○	○	○		2017 年度環境基準達成率：48/49×100= 98%				
	長田川	C→B <sup>*3</sup>	○	○	○		2018 年度環境基準達成率：48/49×100= 98%				
	半場川	C	○	○	○		2019 年度環境基準達成率：46/49×100= 94%				
朝鮮川	C→B <sup>*3</sup>	○	○	○							
阿久比川	C	○	○	○							

\*1 2017 年 3 月 31 日に生活環境の保全に関する水質環境基準の水域類型の見直しを行った。

\*2 2018 年 3 月 30 日に生活環境の保全に関する水質環境基準の水域類型の見直しを行った。

\*3 2019 年 3 月 29 日に生活環境の保全に関する水質環境基準の水域類型の見直しを行った。

類型区分	環境基準値 (BOD75%水質値)	類型区分	環境基準値 (BOD75%水質値)
AA	1 mg/L 以下	C	5 mg/L 以下
A	2 mg/L 以下	D	8 mg/L 以下
B	3 mg/L 以下	E	10 mg/L 以下

河川 49 水域 (BOD) の環境基準達成率の推移

年 度	1973	1974	1975	1976	1977	1978	1979	1980	1981	1982	1983	1984	1985	1986	1987	1998
達成率 (%)	29	45	55	58	48	50	50	55	50	53	48	53	55	61	50	59
年 度	1989	1990	1991	1992	1993	1994	1995	1996	1997	1998	1999	2000	2001	2002	2003	2004
達成率 (%)	55	59	57	64	61	59	64	65	79	77	73	80	69	76	80	90
年 度	2005	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	
達成率 (%)	92	86	96	98	96	94	94	98	94	100	98	96	98	98	94	

イ 全亜鉛、ノニルフェノール、LAS

類型指定がされている 42 水域のうち、全亜鉛は 38 水域で環境基準を達成し、達成率は 90% でした。ノニルフェノール及び LAS は 42 水域全てで環境基準を達成し、達成率は 100% でした。

河川 42 水域 (全亜鉛) の環境基準達成状況

水域区分	水域名	類型	年度			水域区分	水域名	類型	年度		
			2017	2018	2019				2017	2018	2019
木曾川水域	木曾川(2)	生物B	○	○	○	矢作川 水域	乙川(ア)	生物A	○	○	○
庄内川等 水域	日光川	生物B	○	○	○		乙川(イ)	生物B	○	○	○
	新川下流	生物B	○	○	×		鹿乗川	生物B	○	○	○
	五条川下流	生物B	×	×	○		矢作古川	生物B	○	○	○
	庄内川	生物B	○	○	○		介木川	生物A	○	○	○
	矢田川	生物B	○	×	×		男川	生物B	○	○	○
名古屋市内 水域	荒子川	生物B	○	○	○	豊川等 水域	雨山川及び 乙女川下流	生物B	○	○	○
	中川運河	生物B	×	○	○		木瀬川及び 犬伏川下流	生物B	○	○	○
	堀川	生物B	○	○	○		豊川(ア)	生物A	○	○	○
	山崎川	生物B	○	○	○	豊川(イ)	生物B	○	○	○	
	天白川	生物B	○	○	○	宇連川(ア)	生物A	○	○	○	
境川等 水域	境川	生物B	○	○	○	宇連川(イ)	生物B	○	○	○	
	逢妻川	生物B	×	×	×	豊川放水路	生物B	○	○	○	
	猿渡川	生物B	○	○	○	音羽川	生物B	○	○	○	
	稗田川	生物B	○	○	○	佐奈川	生物B	×	×	○	
	高浜川	生物B	○	○	○	梅田川	生物B	○	○	○	
	新川	生物B	○	×	×	汐川	生物B	○	○	○	
	長田川	生物B	×	○	○	天竜川水域	大千瀬川	生物A	○	○	○
	半場川	生物B	○	○	○	2017 年度環境基準達成率：37/42×100=88%					
朝鮮川	生物B	○	○	○	2018 年度環境基準達成率：37/42×100=88%						
阿久比川	生物B	○	○	○	2019 年度環境基準達成率：38/42×100=90%						
矢作川 水域	矢作川(ア)	生物A	○	○	○	類型区分	環境基準値 (全亜鉛平均値)				
	矢作川(イ)	生物B	○	○	○	生物A	0.03 mg/L 以下				
	巴川	生物B	○	○	○	生物B	0.03 mg/L 以下				

河川 42 水域（ノニルフェノール）の環境基準達成状況

水域区分	水域名	類型	年度			水域区分	水域名	類型	年度		
			2017	2018	2019				2017	2018	2019
木曽川水域	木曽川(2)	生物B	○	○	○	矢作川 水域	乙川(ア)	生物A	○	○	○
庄内川等 水域	日光川	生物B	○	○	○		乙川(イ)	生物B	○	○	○
	新川下流	生物B	○	○	○		鹿乗川	生物B	○	○	○
	五条川下流	生物B	○	○	○		矢作古川	生物B	○	○	○
	庄内川	生物B	○	○	○		介木川	生物A	○	○	○
	矢田川	生物B	○	○	○		男川	生物B	○	○	○
名古屋市内 水域	荒子川	生物B	○	○	○	雨山川及び 乙女川下流	生物B	○	○	○	
	中川運河	生物B	○	○	○		木瀬川及び 犬伏川下流	生物B	○	○	○
	堀川	生物B	○	○	○	豊川等 水域	豊川(ア)	生物A	○	○	○
	山崎川	生物B	○	○	○		豊川(イ)	生物B	○	○	○
	天白川	生物B	○	○	○		宇連川(ア)	生物A	○	○	○
境川等 水域	境川	生物B	○	○	○		宇連川(イ)	生物B	○	○	○
	逢妻川	生物B	○	○	○		豊川放水路	生物B	○	○	○
	猿渡川	生物B	○	○	○		音羽川	生物B	○	○	○
	稗田川	生物B	○	○	○		佐奈川	生物B	○	○	○
	高浜川	生物B	○	○	○		梅田川	生物B	○	○	○
	新川	生物B	○	○	○	汐川	生物B	○	○	○	
	長田川	生物B	○	○	○	天竜川水域	大千瀬川	生物A	○	○	○
	半場川	生物B	○	○	○	2017 年度環境基準達成率：42/42×100=100%					
朝鮮川	生物B	○	○	○	2018 年度環境基準達成率：42/42×100=100%						
阿久比川	生物B	○	○	○	2019 年度環境基準達成率：42/42×100=100%						
矢作川 水域	矢作川(ア)	生物A	○	○	○	類型区分	環境基準値（ノニルフェノール平均値）				
	矢作川(イ)	生物B	○	○	○	生物A	0.001 mg/L 以下				
	巴川	生物B	○	○	○	生物B	0.002 mg/L 以下				

河川 42 水域（LAS）の環境基準達成状況

水域区分	水域名	類型	年度			水域区分	水域名	類型	年度		
			2017	2018	2019				2017	2018	2019
木曽川水域	木曽川(2)	生物B	○	○	○	矢作川 水域	乙川(ア)	生物A	○	○	○
庄内川等 水域	日光川	生物B	○	○	○		乙川(イ)	生物B	○	○	○
	新川下流	生物B	○	○	○		鹿乗川	生物B	○	○	○
	五条川下流	生物B	○	○	○		矢作古川	生物B	○	○	○
	庄内川	生物B	○	○	○		介木川	生物A	○	○	○
	矢田川	生物B	○	○	○		男川	生物B	○	○	○
名古屋市内 水域	荒子川	生物B	○	○	○	雨山川及び乙 女川下流	生物B	○	○	○	
	中川運河	生物B	○	○	○		木瀬川及び 犬伏川下流	生物B	○	○	○
	堀川	生物B	○	○	○	豊川等 水域	豊川(ア)	生物A	○	○	○
	山崎川	生物B	○	○	○		豊川(イ)	生物B	○	○	○
	天白川	生物B	○	○	○		宇連川(ア)	生物A	○	○	○
境川等 水域	境川	生物B	○	○	○		宇連川(イ)	生物B	○	○	○
	逢妻川	生物B	○	○	○		豊川放水路	生物B	○	○	○
	猿渡川	生物B	○	○	○		音羽川	生物B	○	○	○
	稗田川	生物B	○	○	○		佐奈川	生物B	○	○	○
	高浜川	生物B	○	○	○		梅田川	生物B	○	○	○
	新川	生物B	○	×	○	汐川	生物B	○	○	○	
	長田川	生物B	○	○	○	天竜川水域	大千瀬川	生物A	○	○	○
	半場川	生物B	○	○	○	2017 年度環境基準達成率：42/42×100=100%					
朝鮮川	生物B	○	○	○	2018 年度環境基準達成率：41/42×100= 98%						
阿久比川	生物B	○	○	○	2019 年度環境基準達成率：42/42×100=100%						
矢作川 水域	矢作川(ア)	生物A	○	○	○	類型区分	環境基準値（LAS平均値）				
	矢作川(イ)	生物B	○	○	○	生物A	0.03 mg/L 以下				
	巴川	生物B	○	○	○	生物B	0.05 mg/L 以下				

河川 42 水域の（全亜鉛、ノニルフェノール、LAS）環境基準達成率の推移

〔全亜鉛〕

年 度	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019
達成率(%)	100	100	100	100	100	79	90	88	88	88	90

\*2008 年度に矢作川水域、2009 年度に木曾川水域、2013 年度に庄内川等水域はじめ 30 水域の水生生物の保全に係る環境基準の類型が指定されたことから、2009 年度は 11 水域で、2010 年度から 2013 年度までは 12 水域で、2014 年度からは 42 水域で環境基準の達成状況を評価しています。

〔ノニルフェノール〕

年 度	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019
達成率(%)	100	100	100	100	100	100	100

\*2012 年 8 月に水生生物の保全に係る環境基準項目に追加され、2013 年度は 11 水域で、2014 年度からは 42 水域で環境基準の達成状況を評価しています。

〔LAS〕

年 度	2014	2015	2016	2017	2018	2019
達成率(%)	98	95	95	100	98	100

(2) 湖沼（COD、全亜鉛、ノニルフェノール、LAS）

ア COD

類型指定がされている油ヶ淵<sup>あぶらがふち</sup>では環境基準を達成していませんが、水質は長期的な推移をみると改善傾向にあります。

湖沼 1 水域（COD）の環境基準達成状況

水域名	類型	環境基準値 (COD75%水質値)	年 度				
			2015	2016	2017	2018	2019
油ヶ淵	B	5 mg/L 以下	×	×	×	×	×

油ヶ淵におけるCODの経年変化 (mg/L)

年 度	2002	2003	2004	2005	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016
COD75%水質値	9.5	11	9.7	10	9.8	9.0	7.6	6.7	7.0	7.6	7.5	7.7	7.5	7.2	7.4
COD 年平均值	8.4	9.1	8.3	8.6	8.1	7.5	6.7	5.9	6.6	6.8	6.8	6.9	6.9	6.5	6.9
年 度	2017	2018	2019												
COD75%水質値	7.4	6.9	8.1												
COD 年平均值	6.7	6.5	6.6												

イ 全亜鉛、ノニルフェノール、LAS

類型指定がされている油ヶ淵<sup>あぶらがふち</sup>では全亜鉛、ノニルフェノール及びLASの環境基準を達成しました。

湖沼 1 水域（全亜鉛、ノニルフェノール、LAS）の環境基準達成状況

水域名	項目	類型	環境基準値 (平均値)	年 度				
				2015	2016	2017	2018	2019
油ヶ淵	全亜鉛	生物B	0.03 mg/L 以下	○	○	○	○	○
	ノニルフェノール	生物B	0.002 mg/L 以下	○	○	○	○	○
	LAS	生物B	0.05 mg/L 以下	○	○	○	○	○

(3) 海域 (COD、全窒素、全燐、全亜鉛、ノニルフェノール、LAS)

ア COD

類型指定がされている伊勢湾 11 水域のうち、5 水域で環境基準を達成し、達成率は 45% でした。長期的な推移をみると概ね横ばいです。

海域 11 水域 (COD) の環境基準達成状況

水域区分	水域名	類型	年度			2017年度環境基準達成率：5/11×100=45%			
			2017	2018	2019	2018年度環境基準達成率：6/11×100=55%	2019年度環境基準達成率：5/11×100=45%		
伊勢湾	名古屋港(甲)	C	○	○	○	類型区分	環境基準値 (COD75%水質値)		
	名古屋港(乙)	B	×	○	×			A	2 mg/L 以下
	常滑地先海域	B	×	×	×				
	伊勢湾	A	×	×	×			C	8 mg/L 以下
衣浦湾	衣浦港	C	○	○	○				
	衣浦港南部	C	○	○	○				
	衣浦湾	A	×	×	×				
渥美湾	蒲郡地先海域	C	○	○	○				
	神野・田原地先海域	C	○	○	○				
	渥美湾(甲)	B	×	×	×				
	渥美湾(乙)	A	×	×	×				

海域 11 水域 (COD) の環境基準達成率の推移

年度	1973	1974	1975	1976	1977	1978	1979	1980	1981	1982	1983	1984	1985	1986	1987	1988
達成率(%)	64	55	55	55	45	55	64	64	64	45	45	45	55	55	55	73

年度	1989	1990	1991	1992	1993	1994	1995	1996	1997	1998	1999	2000	2001	2002	2003	2004
達成率(%)	55	64	55	55	55	55	64	55	45	45	55	50	60	55	55	55

年度	2005	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019
達成率(%)	55	45	64	55	55	45	55	55	45	45	64	55	45	55	45

イ 全窒素、全燐

類型指定がされている伊勢湾 6 水域のうち、全窒素は 5 水域で環境基準を達成し、達成率は 83% でした。全燐は 6 水域全てで環境基準を達成し、達成率は 100% でした。長期的な推移をみるといずれの項目も改善傾向にあります。

海域 6 水域 (全窒素) の環境基準達成状況

水域区分	水域名	類型	年度			2017年度環境基準達成率：5/6×100=83%			
			2017	2018	2019	2018年度環境基準達成率：5/6×100=83%	2019年度環境基準達成率：5/6×100=83%		
伊勢湾	伊勢湾(イ)	IV	○	○	○	類型区分	環境基準値 (全窒素平均値)		
	伊勢湾(ハ)	III	○	○	○			II	0.3 mg/L 以下
	伊勢湾(ニ)	II	○	○	○				
三河湾	三河湾(イ)	IV	○	○	○	III	0.6 mg/L 以下		
	三河湾(ロ)	III	○	○	○			IV	1 mg/L 以下
	三河湾(ハ)	II	×	×	×				

海域6水域（全燐）の環境基準達成状況

水域区分	水域名	類型	年度			2017年度環境基準達成率：5/6×100＝83%	
			2017	2018	2019	2018年度環境基準達成率：6/6×100＝100%	2019年度環境基準達成率：6/6×100＝100%
伊勢湾	伊勢湾(イ)	IV	○	○	○	類型区分	環境基準値（全燐平均値）
	伊勢湾(ハ)	III	○	○	○		
	伊勢湾(ニ)	II	○	○	○	II	0.03 mg/L 以下
三河湾	三河湾(イ)	IV	○	○	○	III	0.05 mg/L 以下
	三河湾(ロ)	III	○	○	○	IV	0.09 mg/L 以下
	三河湾(ハ)	II	×	○	○		

海域6水域（全窒素、全燐）環境基準達成率の推移

[全窒素]

年度	1996	1997	1998	1999	2000	2001	2002	2003	2004	2005	2006	2007	2008	2009	2010
達成率(%)	67	67	50	67	67	67	83	83	50	83	83	100	83	83	83

年度	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019
達成率(%)	83	83	100	100	83	83	83	83	83

[全燐]

年度	1996	1997	1998	1999	2000	2001	2002	2003	2004	2005	2006	2007	2008	2009	2010
達成率(%)	33	17	33	33	50	67	50	50	50	67	33	50	83	33	83

年度	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019
達成率(%)	33	50	83	67	67	100	83	100	100

ウ 全亜鉛、ノニルフェノール、LAS

類型指定がされている伊勢湾4水域のうち、全亜鉛、ノニルフェノール及びLASは4水域全てで環境基準を達成し、達成率は100%でした。

海域4水域（全亜鉛）の環境基準達成状況

水域区分	水域名	類型	年度			2017年度環境基準達成率：4/4×100＝100%	
			2017	2018	2019	2018年度環境基準達成率：4/4×100＝100%	2019年度環境基準達成率：4/4×100＝100%
伊勢湾	伊勢湾	A	○	○	○	類型区分	環境基準値（全亜鉛平均値）
	伊勢湾(イ)	特A	○	○	○		
	伊勢湾(ハ)	特A	○	○	○	特A	0.01mg/L 以下
	伊勢湾(ホ)	特A	○	○	○	A	0.02mg/L 以下

海域4水域（ノニルフェノール）の環境基準達成状況

水域区分	水域名	類型	年度			2017年度環境基準達成率：4/4×100＝100%	
			2017	2018	2019	2018年度環境基準達成率：4/4×100＝100%	2019年度環境基準達成率：4/4×100＝100%
伊勢湾	伊勢湾	A	○	○	○	類型区分	環境基準値（ノニルフェノール平均値）
	伊勢湾(イ)	特A	○	○	○		
	伊勢湾(ハ)	特A	○	○	○	特A	0.0007mg/L 以下
	伊勢湾(ホ)	特A	○	○	○	A	0.001mg/L 以下

### 海域4水域（L A S）の環境基準達成状況

水域区分	水域名	類型	年度			2017年度環境基準達成率：4/4×100=100%	
			2017	2018	2019	2018年度環境基準達成率：4/4×100=100%	
伊勢湾	伊勢湾	A	○	○	○	2019年度環境基準達成率：4/4×100=100%	
	伊勢湾(イ)	特A	○	○	○	類型区分	環境基準値（L A S 平均値）
	伊勢湾(ハ)	特A	○	○	○	特A	0.006mg/L 以下
	伊勢湾(ホ)	特A	○	○	○	A	0.01mg/L 以下

### 海域4水域の（全亜鉛、ノニルフェノール、L A S）の環境基準達成率の推移

#### 〔全亜鉛〕

年 度	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019
達成率(%)	75	100	100	100	100	100	100

#### 〔ノニルフェノール〕

年 度	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019
達成率(%)	100	100	100	100	100	100	100

#### 〔L A S〕

年 度	2014	2015	2016	2017	2018	2019
達成率(%)	100	100	100	100	100	100

#### (参考)環境基準の達成状況の評価について

##### <環境基準類型指定水域の環境基準達成の評価>

環境基準類型指定水域の環境基準達成の評価は、環境省が示している基準に則って判断します。

BOD（河川）及びCOD（湖沼及び海域）については75%水質値<sup>\*1</sup>により、全亜鉛、ノニルフェノール及びL A Sについては年間平均値により行い、いずれも水域内の全ての環境基準点<sup>\*2\*3</sup>においてその値が適合しているときを達成<sup>\*4</sup>としました。また、海域における全窒素及び全リンについては、類型指定水域内の各環境基準点における表層の年間平均値を、当該水域内の全ての環境基準点<sup>\*3</sup>について平均した値が適合しているとき達成<sup>\*4</sup>としました。

\*1 75%水質値：年間n個の日間平均値を小さいものから並べたとき、0.75×n番目の数値

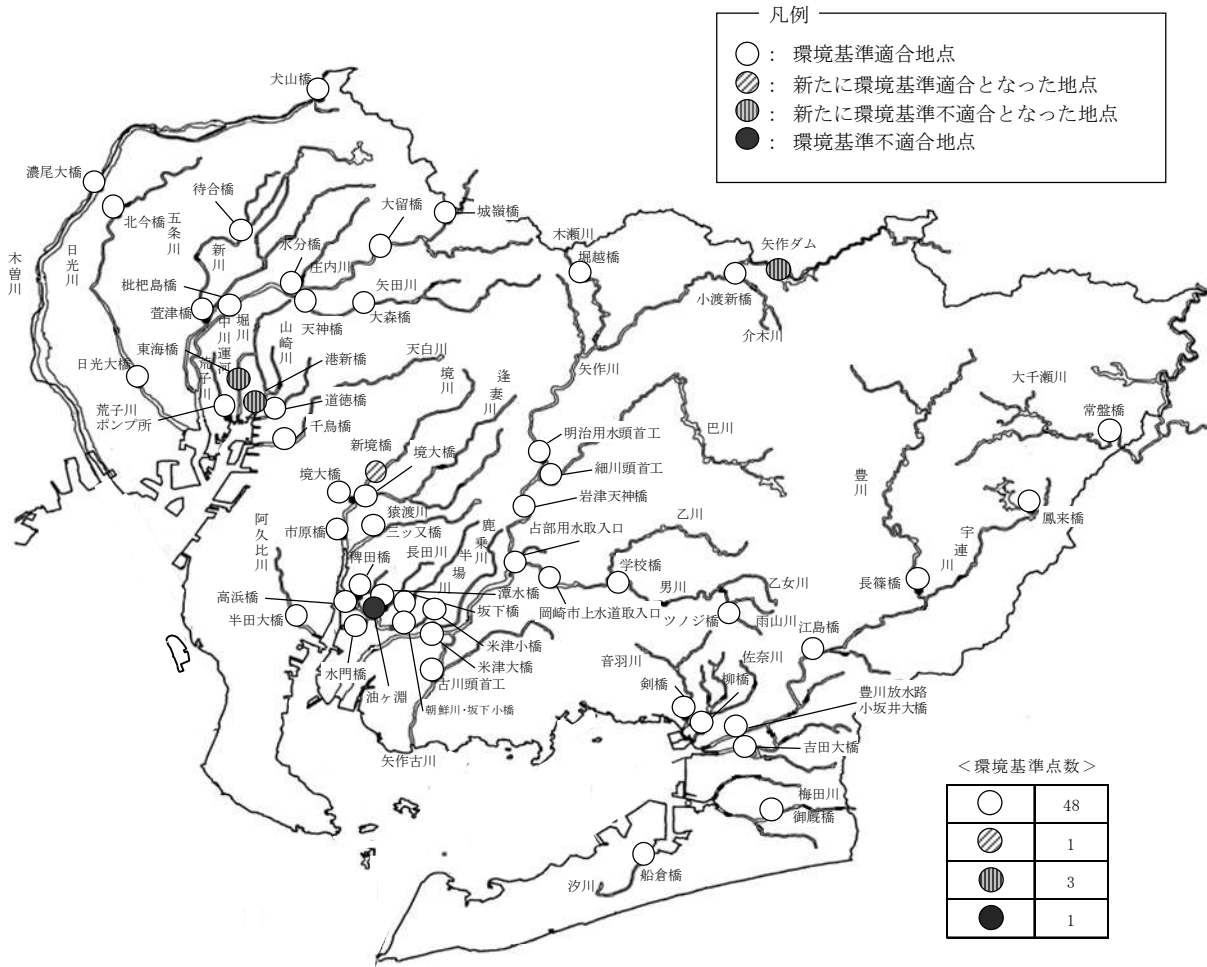
\*2 河川：木曾川水域におけるBODの環境基準点は、岐阜県及び三重県の調査分を含む。

\*3 海域：伊勢湾水域における全窒素、全リン、全亜鉛、ノニルフェノール及びL A Sの環境基準点は、三重県の調査分を含む。

\*4 達成率：(達成水域数) / (総水域数) ×100



(参考1) 河川・湖沼における環境基準の適合状況 (BOD・COD)



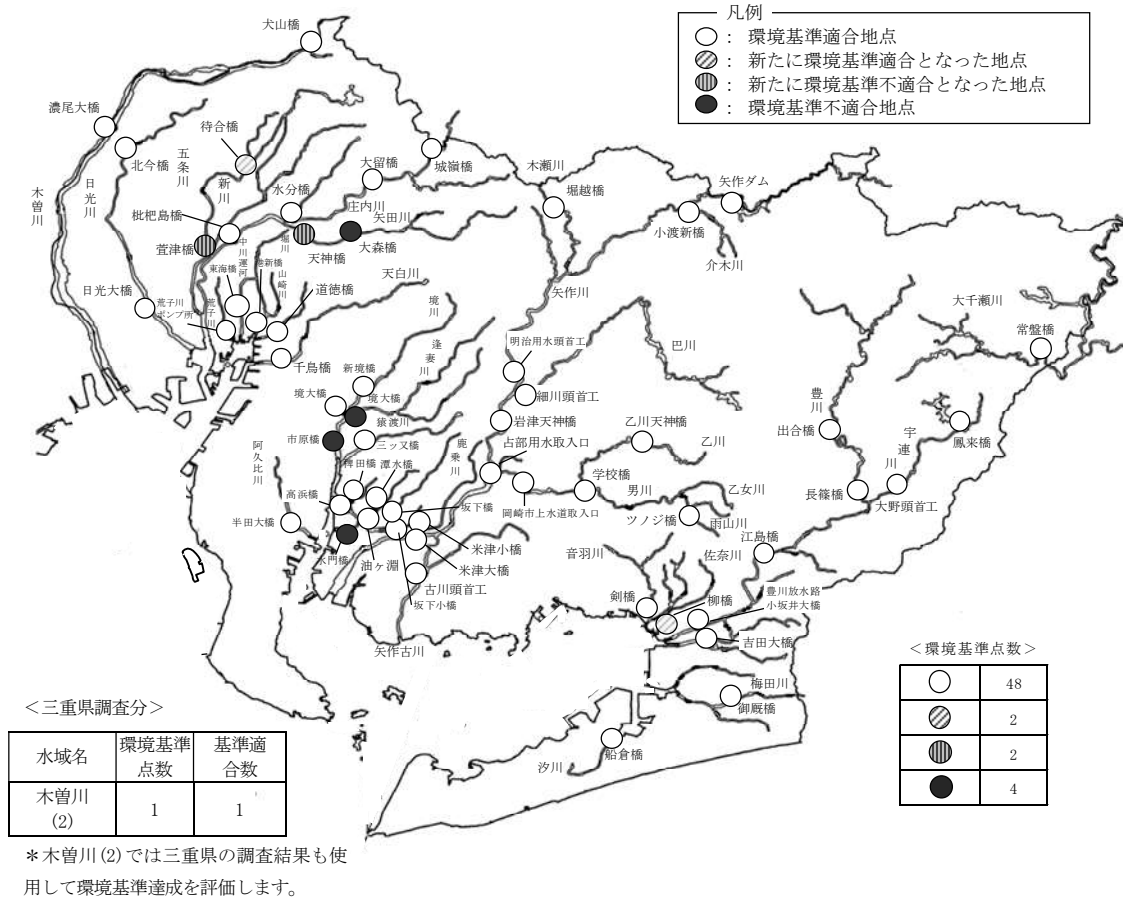
<岐阜県及び三重県調査分>

	水域名	環境基準点数	基準適合数
岐阜県調査分	木曾川中流	1	1
三重県調査分	木曾川下流	1	1

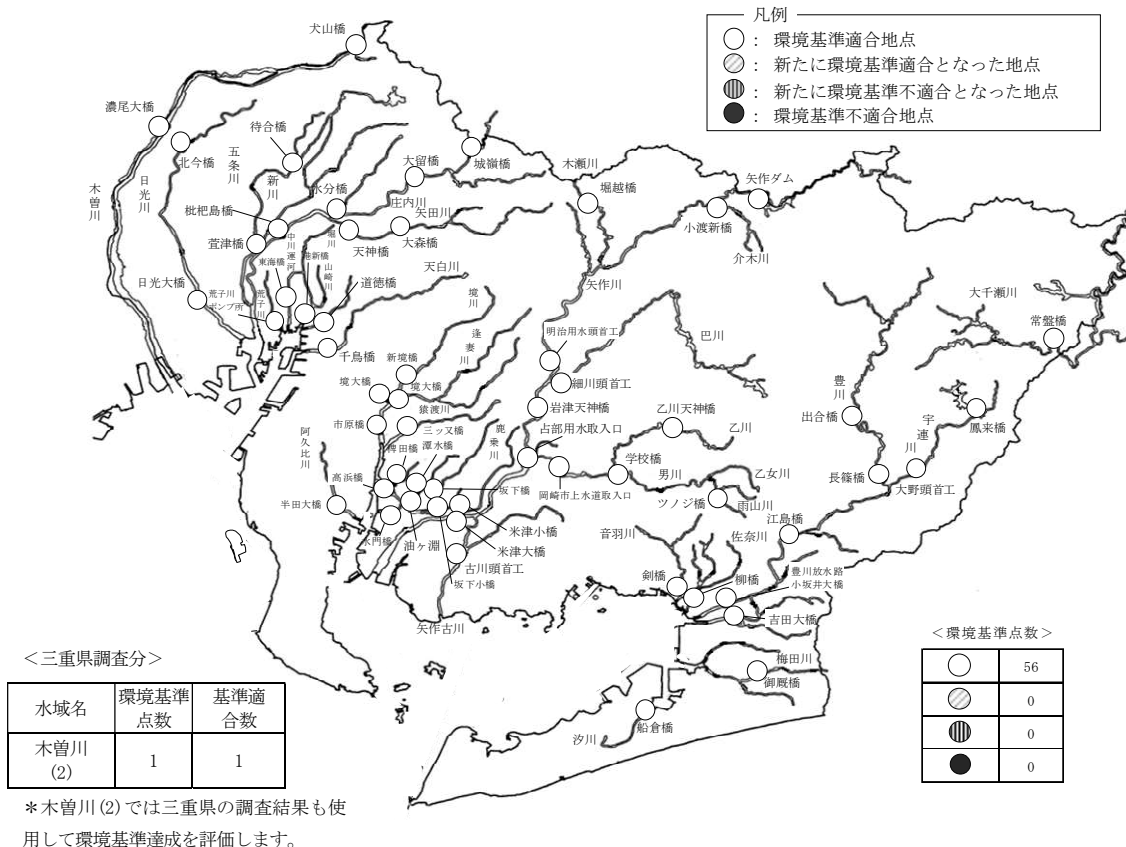
\* 木曾川中流では岐阜県の、木曾川下流では三重県の調査結果も使用して環境基準達成を評価します。

(参考2) 河川・湖沼における環境基準の適合状況（水生生物の保全に係る環境基準項目）

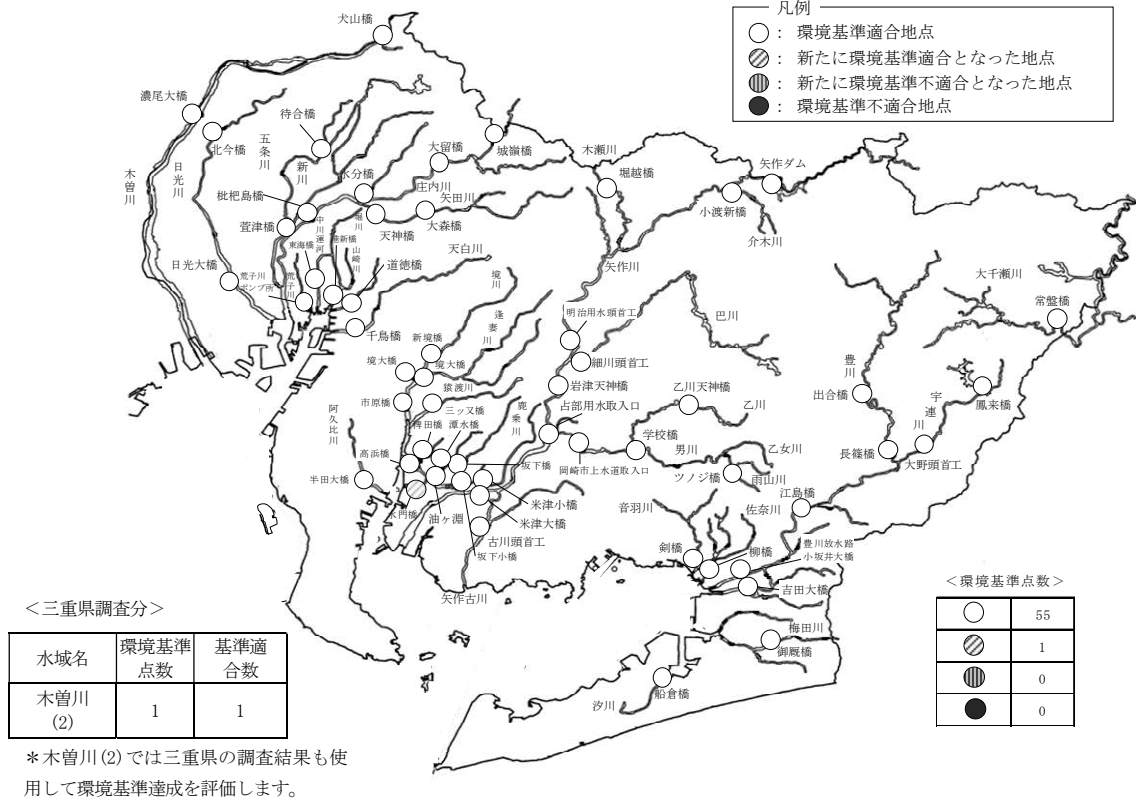
【全亜鉛】



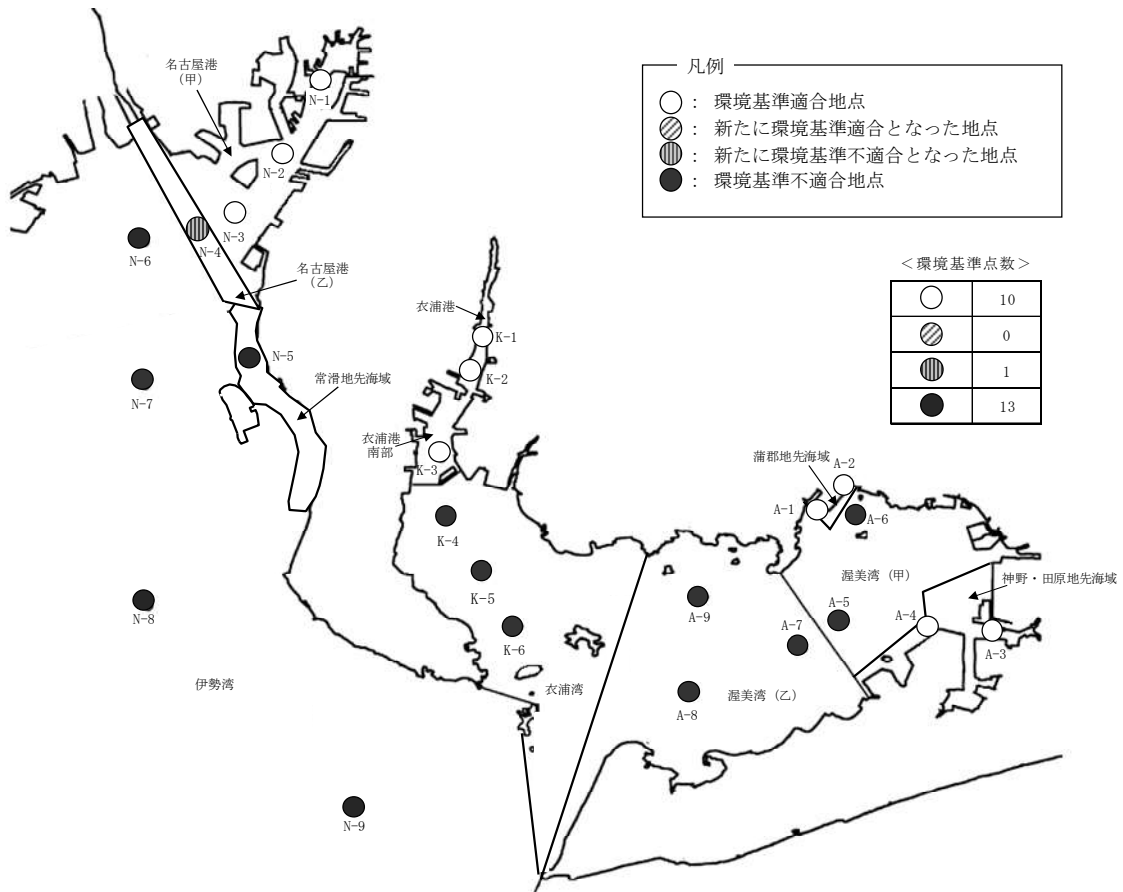
【ノニルフェノール】



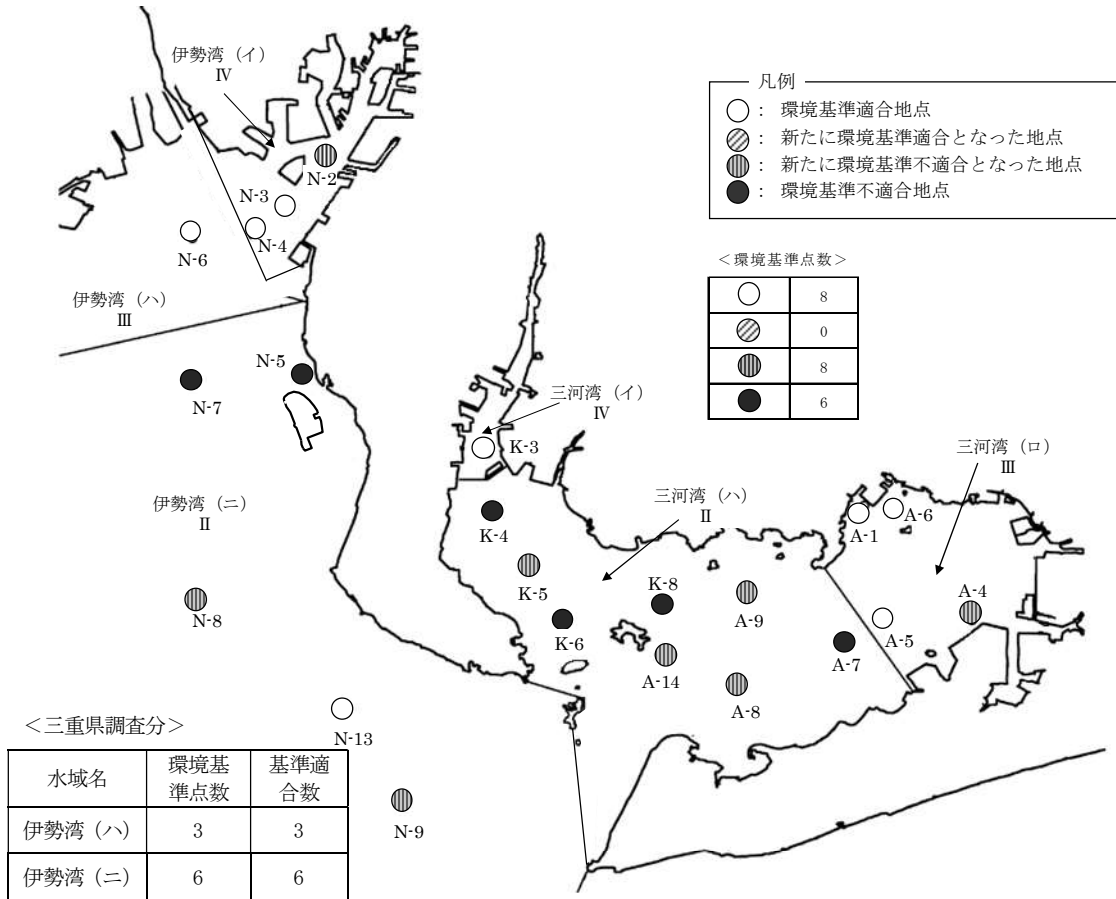
# 【LAS】



## (参考3) 海域における環境基準の適合状況 (COD)

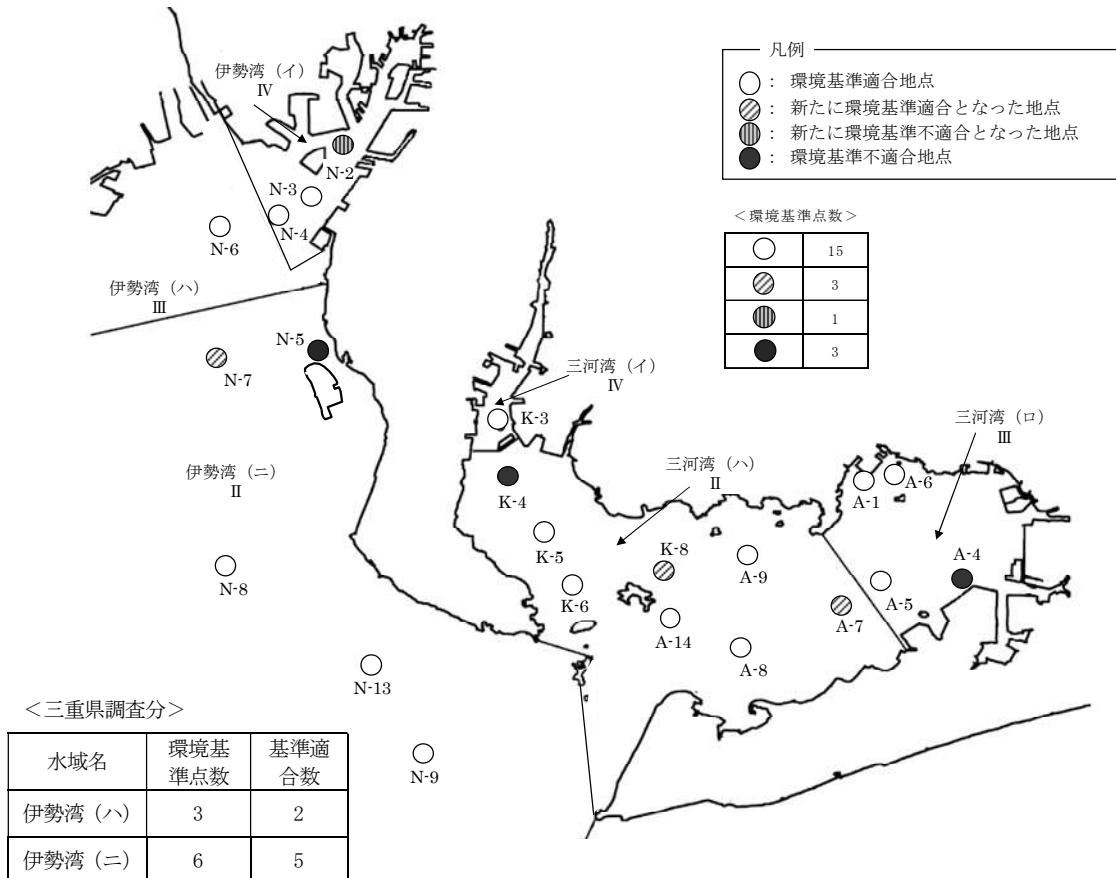


(参考4) 海域における環境基準の適合状況 (全窒素)



\*伊勢湾 (ハ) 及び伊勢湾 (ニ) では、三重県の調査結果も使用して環境基準達成を評価します。

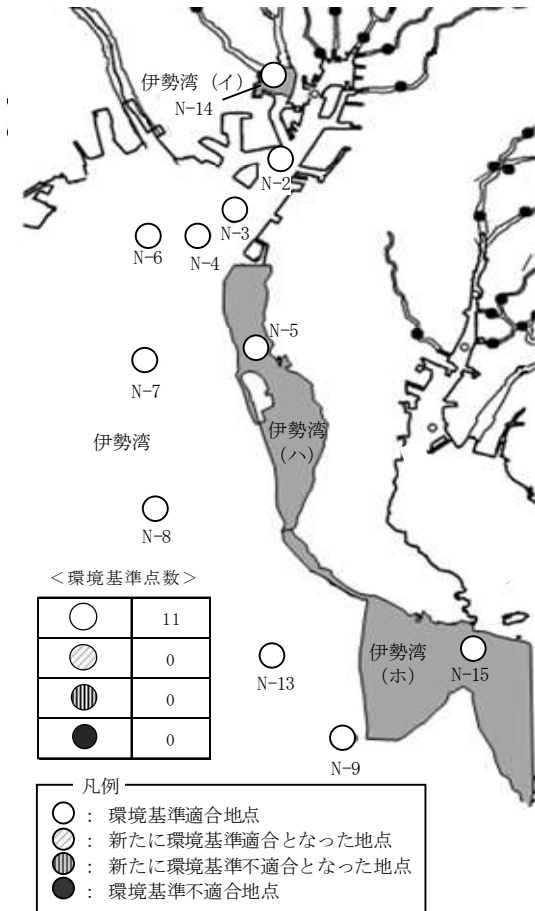
(参考5) 海域における環境基準の適合状況 (全燐)



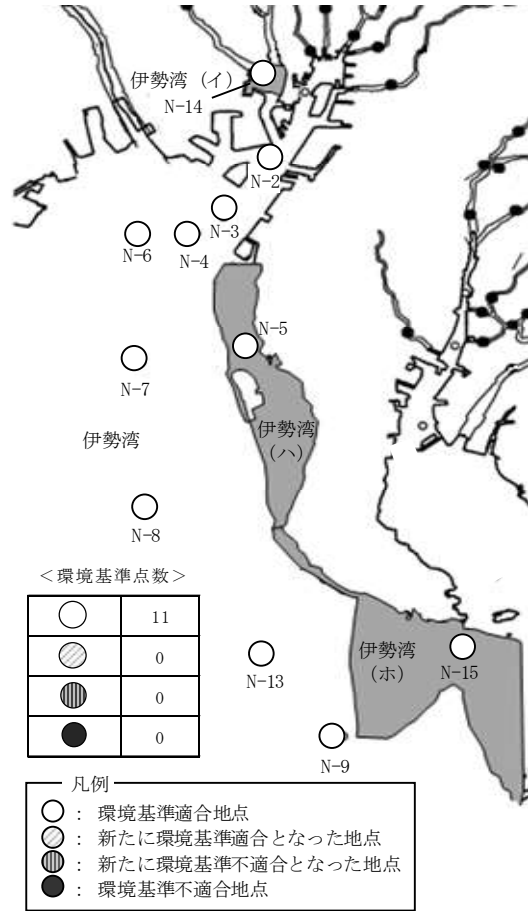
\*伊勢湾 (ハ) 及び伊勢湾 (ニ) では、三重県の調査結果も使用して環境基準達成を評価します。

(参考6) 海域における環境基準の適合状況 (水生生物の保全に係る環境基準項目)

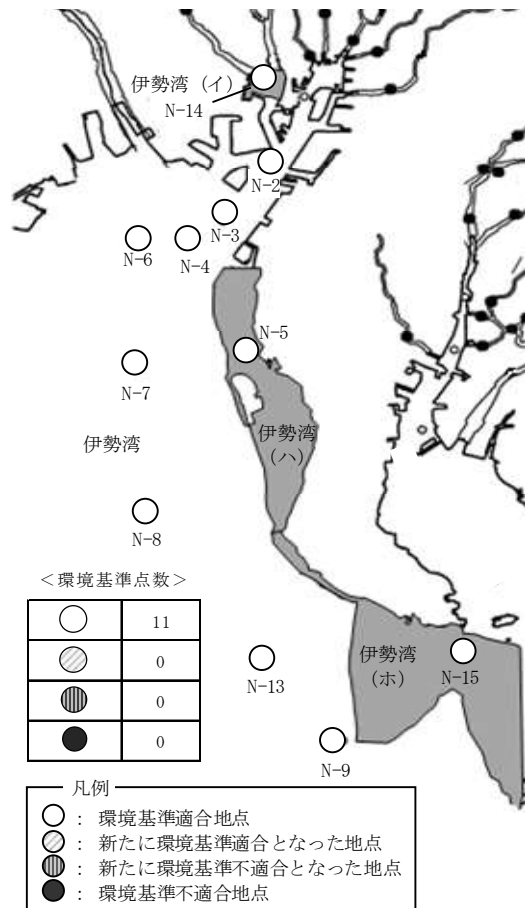
【全亜鉛】



【ノニルフェノール】



【LAS】

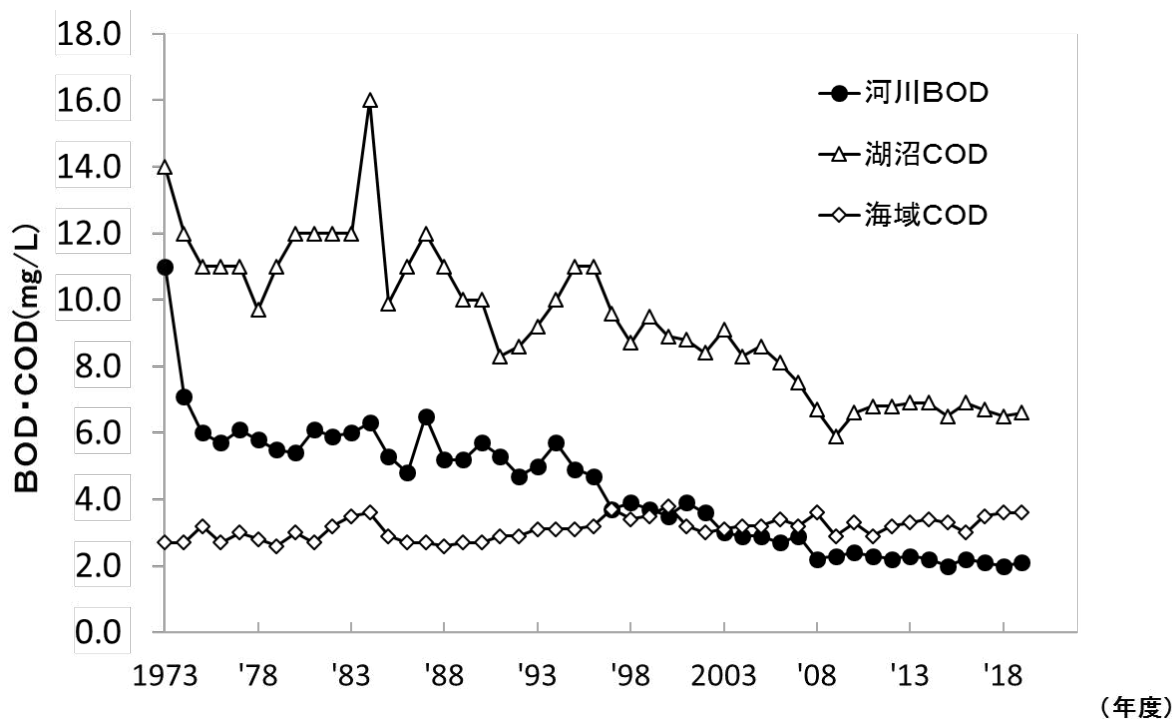


<三重県調査分>

項目	水域名	環境基準点数	基準適合数
全亜鉛	伊勢湾	2	2
ノニルフェノール		2	2
LAS		2	2

\*伊勢湾では、三重県の調査結果も使用して環境基準達成を評価します。

(参考7) 河川、湖沼、海域におけるBOD又はCODの推移 (年間平均値)



\*河川はBOD、湖沼及び海域はCODの愛知県の各環境基準点における年間平均値を用いて算出しています。

BOD又はCOD年間平均値 (環境基準点のみ)

年度	'73	'74	'75	'76	'77	'78	'79	'80	'81	'82	'83	'84	'85	'86	'87	'88
河川BOD (mg/L)	11	7.1	6.0	5.7	6.1	5.8	5.5	5.4	6.0	5.9	6.0	6.3	5.3	4.8	6.5	5.2
湖沼COD (mg/L)	14	12	11	11	11	9.7	11	12	12	12	12	16	9.9	11	12	11
海域COD (mg/L)	2.7	2.7	3.2	2.7	3.0	2.8	2.6	3.0	2.7	3.2	3.5	3.6	2.8	2.7	2.7	2.6

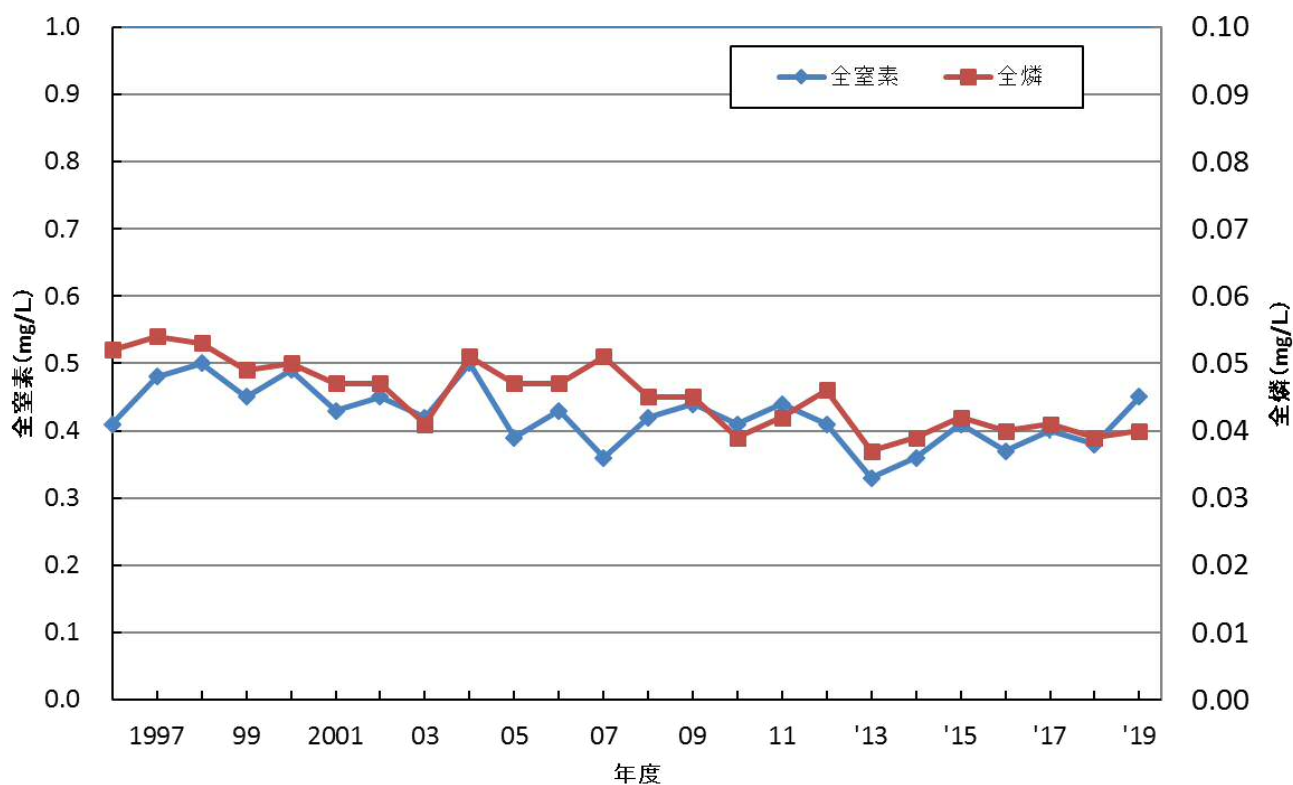
  

年度	'89	'90	'91	'92	'93	'94	'95	'96	'97	'98	'99	2000	'01	'02	'03	'04
河川BOD (mg/L)	5.2	5.7	5.2	4.7	5.0	5.7	4.9	4.7	3.7	3.9	3.7	3.5	3.8	3.6	3.0	2.9
湖沼COD (mg/L)	10	10	8.3	8.6	9.2	10	11	11	9.6	8.7	9.5	8.9	8.8	8.4	9.1	8.3
海域COD (mg/L)	2.7	2.7	2.9	2.9	3.1	3.1	3.1	3.2	3.7	3.4	3.5	3.8	3.2	3.0	3.1	3.2

年度	'05	'06	'07	'08	'09	'10	'11	'12	'13	'14	'15	'16	'17	'18	'19
河川BOD (mg/L)	2.9	2.7	2.9	2.2	2.3	2.4	2.2	2.2	2.3	2.2	2.0	2.2	2.1	2.0	2.1
湖沼COD (mg/L)	8.6	8.1	7.5	6.7	5.9	6.6	6.8	6.8	6.9	6.9	6.5	6.9	6.7	6.5	6.6
海域COD (mg/L)	3.2	3.4	3.2	3.6	2.9	3.3	2.9	3.2	3.3	3.4	3.3	3.0	3.5	3.6	3.6

(参考8) 海域における全窒素及び全リンの濃度推移 (年間平均値)



全窒素及び全リン年間平均値 (環境基準点のみ)

年度	1996	1997	1998	1999	2000	2001	2002	2003	2004	2005
全窒素 (mg/L)	0.41	0.48	0.50	0.45	0.49	0.43	0.45	0.42	0.50	0.39
全リン (mg/L)	0.052	0.054	0.053	0.049	0.050	0.047	0.047	0.041	0.051	0.047

年度	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015
全窒素 (mg/L)	0.43	0.36	0.42	0.44	0.41	0.44	0.41	0.33	0.36	0.41
全リン (mg/L)	0.047	0.051	0.045	0.045	0.039	0.042	0.046	0.037	0.039	0.042

年度	2016	2017	2018	2019
全窒素 (mg/L)	0.37	0.40	0.38	0.45
全リン (mg/L)	0.040	0.041	0.039	0.040

\*全窒素及び全リンの愛知県の各環境基準点における年間平均値を用いて算出しています。